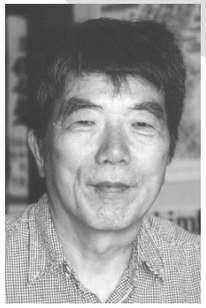
講演会開催のお知らせ

テーマ

人と川との関わりとスーパー堤防



- 改正河川法の目指すもの
- 人と川とのかかわり
- 河川改修の歴史とスーパー堤防

日時：１０月３日（日）
午前１０時～１２時

場所：北小岩コミュニティ会館
第３・４集会室

プログラム：

１０：００	講演	尾田栄章氏 （元建設省河川局長）
１１：００	特別対談	尾田栄章氏 戸口素男運営委員長 渡邉拓美氏 （地質学研究者）
１１：２０	代表質問	渡邉清明代表（篠崎） 宮坂健司代表（18班）
１１：３０	質疑応答	会場から
１２：００	閉会（若干延びる場合があります）	

北小岩・18班・篠崎地区考える会共催

ー建設委員会傍聴記ー

第３回定例会で結論を出したい
スーパー堤防は背景となる数字はない

９月14日（火）午前10時から建設委員会が開かれました。スーパー堤防に関しては9件が一括審議されました。

中里委員（民主）　消防活動困難区域があるとすれば、北小岩18班地区はどう扱うのか。

土木部　ボヤ騒ぎで消防車が入れなかったことがあった。

中里委員　今でも十分活動できる、と言う人があるが。

土木部　ある消防署長は、どんな場所でも確実に消化できると。但し、街づくりとは別次元の話だ。

新村委員（生活者ネット）　９月12日の東京新聞に、利根川の治水基準点八斗島での流量予測が過大、とあった。また過日、北総台地の破堤が江戸川右岸にはね返る、とした根拠は。強制収用はしない、とも言ったが本当か。内水氾濫対策はどうなっているか。

土木部　東京新聞は読んでいない。江戸川左岸で破堤するとロート状の場所から溢れ、小岩の辺りが危ないのだ。また、直接施行は考えていない。話し合いを優先する。６カ所の排水ポンプで内水氾濫が収まった。公園の地下には遊水池も造ってある。

須田委員（共産）　９月12日の報道は珍しいことではない。スーパー堤防の可否は別に流域全体で考える必要がある。利根川の全体流量を２万２千トン、７千トンを江戸川に流すとしているが、そのためのダムも手付かず、堤防整備改修も30～40％。計画が絶対としているが、例えば北小岩は18班を除いて着手できない。最大の治水対策は内水氾濫ではないか。国交省がやるべきは一般堤防の整備。一旦スーパー堤防を停止すべきだ。

片山(剛)委員（公明）　ＮＨＫの「首都水没」を視たが、改めて堤防の強化、スーパー堤防と感じた。次回の委員会で陳情に結論を出したい。

土木部　前原国交相は埼玉県吉川を視察、吉川は田畑が多いので用地買収方式。人が多い地では街づくりと一緒にやらねば、と言っている。

片山(知)委員（自民）　やるのは住民の安全と安心を守るためだ。スーパー堤防も先行投資をしている。中止は税金のムダ遣いになる。結論を出す方向で調整したい。

中里委員　国は８６０兆円の赤字を抱えている。街づくりとスーパー堤防、それが国に依存する結果になっている。八ッ場と同じ構図だ。立ち止まって考え直すべきだ。

渡部委員長（自民）　第３回定例会（９月27日～10月28日）で結論を。この９件に対し各会派の意見を聞きたい。

須田委員　議論の中身が別れている。根本の議論をしたい。結論は急ぐべきではない。

渡部委員長　すでにそれぞれの立場を述べた。２、３年やっている。第３回定例会定で明確にしたい。

新村委員　２万２千トンの数値がおかしい、となっている。考え直すべきだ。

土木部　川は上流、中流、下流で役割が違う。スーパー堤防では背景となる数字はない。

渡部委員長　陳情９件は３定で賛否を問う。本日は継続。

安中茂作のスーパー川柳　第五十九弾

はじめから　結論ありきで　いいんかい

（建設委員会を傍聴して）